

平成 21 年 7 月 28 日

各 位

住 所	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
会 社 名	GMO インターネット株式会社
代 表 者	代表取締役会長兼社長 熊 谷 正 寿 (コード番号 9 4 4 9 東証第一部)
問い合わせ先	専 務 取 締 役 安 田 昌 史 グループ管理部門統括
T E L	0 3 - 5 4 5 6 - 2 5 5 5 (代)
U R L	<a href="http://www.gmo.jp">http://www.gmo.jp</a>

## ドメイン (新 gTLD) レジストリ事業への参入と新会社設立について

当社は、本日 (7月28日)、GMOドメインレジストリ株式会社を新たに設立し、新ドメイン (新gTLD\*1) の申請・運用代行とマーケティング支援事業を開始することといたしましたのでお知らせいたします。

なお、新gTLDのレジストリ\*2事業は、国内初となります。

「\*」の用語は末尾【用語解説】をご参照願います。参考資料として「ドメインについて」を添付いたしましたので、あわせてご参照願います。

### 1. 新gTLD申請開始について

現在、.comや.netなど21種類のgTLDが存在しますが、市場の拡大に伴い新たなgTLDの導入を求める声  
がICANN\*3へ多くあげられました。ICANNはこの声に応え、2008年6月「新しい分野別トップレベルド  
メインの導入プログラム勧告」を採択、2010年より新たなgTLDの申請受け付けが開始する予定である  
ことを発表しました。

これにより、企業名や地理的名称、一般名称でのトップレベルドメインの申請が可能となります。す  
でに.nyc (ニューヨーク)、.bcn (バルセロナ)、.london (ロンドン)、.paris (パリ) など、各国の都市  
でも申請を表明しています。また、.eco (エコロジー) や.music (音楽)、.sport (スポーツ)、.gay (ゲ  
イ) といった一般名称での申請に意欲的な団体や企業も出てきています。

### 2. GMOドメインレジストリ設立について


新gTLDの申請・運用代行においては、ドメイン管理機関 (レジストリ) を運営するに当たって必要  
な技術力と運用能力が必要となります。

こうしたなか、GMOインターネットグループは、アジア圏で初めてICANNよりドメイン名の登録機  
関 (レジストラ) として認定された信頼性と、国内で最大規模の約100万ドメイン (アクティブなドメ  
イン) を管理する実績を有します。

この度の新gTLD導入の動きに合わせ、GMOインターネットでは企業や地方自治体が希望する新  
gTLDの申請・運用の代行とマーケティング支援を行うGMOドメインレジストリ株式会社 (以下、GMO  
ドメインレジストリ) の設立を決定いたしました。

ICANN公認レジストラとして日本円・日本語でのドメイン名登録を開始し、365日24時間のサポート体制を敷くなど日本国内のドメイン市場を切り開いてきたGMOインターネットグループが持つ強みを活かして、GMOドメインレジストリにおいて国内初となる新gTLDに関する事業を開始いたします。

### 3. 新会社「GMOドメインレジストリ株式会社」の概要

新設子会社名	GMOドメインレジストリ株式会社（英文表記：GMO Registry, Inc.）
設立日	2009年7月28日
本店所在地	東京都渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー
資本金	5,000万円（GMOインターネット 100%出資）
役員構成	代表取締役社長 熊谷正寿 取締役 西山裕之 取締役 伊藤正 取締役 大東洋克 監査役 安田昌史
ロゴ	

### 4. 今後の展開

今回の新gTLDのレジストリ事業開始とともにccTLD\*4でもレジストリ運営代行とマーケティング支援の開始を予定しております。現在は、開始に向けて運営システムの開発に注力しています。

(補足)

#### ①ICANNによる新gTLD申請募集概要

- ・ 地理的名称に関連する文字列は、関連する国、地方自治体の「支持」または「反対しない」旨の署名入り文章が必要。
  - ・ 申請の競合が発生した場合は比較審査を行い、それでも決まらない場合はオークションとなる。
- 上記は、現在までにICANNより公表された内容に基づきます。詳細な募集要項はICANNの発表があり次第、随時お知らせいたします。

#### ②日本国内での動き

日本でも総務省を中心に「.日本」導入の準備を進めており、総務省から発表されたガイドラインに従って、「.日本」のレジストリを選定する選定委員会設立の準備が進められています。

### 5. 業績に与える影響

当該事業による平成21年12月期の業績にあたる影響は軽微であり、公表済みの業績予想数値の変更はありません。

今後もGMOインターネットグループでは、お客様のご要望・ご期待にお応えすべく、ドメインに関する各種サービスの充実を図り、お客様の笑顔と感動の創造を目指してまいります。

## 6. サービスに関する問合せ先

① GMO ドメインレジストリ株式会社

E-mail : [info@gmo-registry.com](mailto:info@gmo-registry.com)

② 報道関係お問い合わせ先

GMO インターネット株式会社 グループ広報部 細田・石井

TEL : 03-5456-2695

FAX : 03-3780-2611

E-mail : [pr@gmo.jp](mailto:pr@gmo.jp)

### 【用語解説】

- \*1 gTLD…ジェネリックトップレベルドメイン。一般的な利用を目的として使用されるドメイン名で代表的なものは、.com、.net、.org など。
- \*2 レジストリ…ドメイン名情報のデータベースを一元的に管理している機関。（参考資料内、図参照）
- \*3 ICANN…IPアドレスやドメイン名などのインターネットの資源を世界的に調整・管理する非営利団体。
- \*4 ccTLD…カントリーコードトップレベルドメイン。国名コードにもとづくトップレベルドメインで、日本をあらわす.jp や.us（米国）、.uk（英国）などがある。

以上

【参考資料】ドメインについて

# http://www.gmo-registry.com



ICANNは、The Internet Corporation for Assigned Names and Numbers の略で、インターネット上で使用されるドメイン名やIPアドレスといったアドレス資源の割当管理を行う米国の非営利団体。また、ドメイン登録業務を行うレジストラ（登録業者）を公認する権限を持っています。



レジストリは、ドメイン名情報のデータベースを一元的に管理している機関です。ドメインによってレジストリは異なり、「.com/.net」はVeriSign,inc.、「.org」はPublic Interest Registryによって管理されています。すべてのレジストラに対し平等に、共有登録システム(SRS: Shared Registry System)へのアクセスを保証し、中立の立場であることが要求されています。



ICANNに認定されているレジストラは、直接、各レジストリと契約を結びSRSを使用してレジストリデータベースにドメイン情報を登録することができます。またレジストリはトップレベルドメインごとに一つの組織しか認定されませんが、レジストラは価格面やサービス面から競争原理が働くよう、複数存在することができます。



ユーザー